よくわかる公共事業

令和5年度

国道１４５号（原町工区）電線共同溝事業

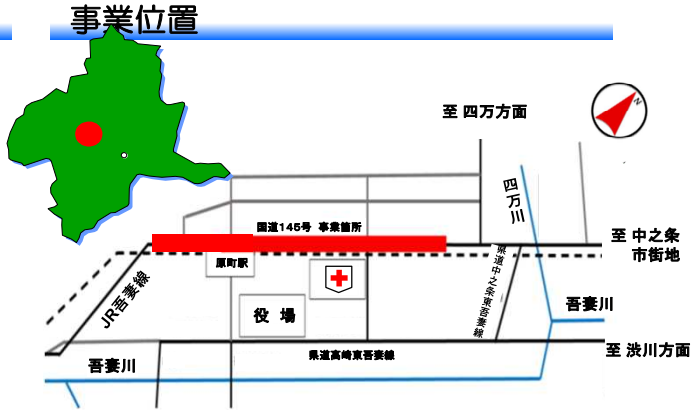
政策1　災害レジリエンスNo.1の実現

施策３：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

■所在地：東吾妻町原町
■路線名：国道145号
■事業内容：電線共同溝
　　路線延長　1,050m
　　管路延長　2,100m
■全体事業費：約7億円
■事業期間：平成29年度～令和５年度（８年間）
■現在の交通量(H27)：10,679台/日（自動車）
　　：178人/日（歩行者）
　　：17台/日（自転車）
■緊急郵送道路：第1次緊急輸送

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築するため

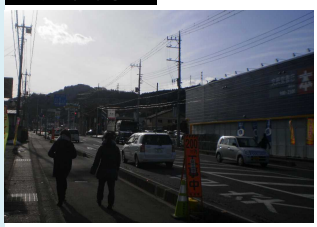
電線を地中化し電柱を撤去します

地元の声

・近くに災害拠点病院があるので、災害時も支障なく通れる道路にしてほしい。（医療関係者）
・西吾妻への重要な道路なので、災害時も支障なく通れる道路にしてほしい。　（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
電柱倒壊のおそれ	あり	なし

実施前



現地状況

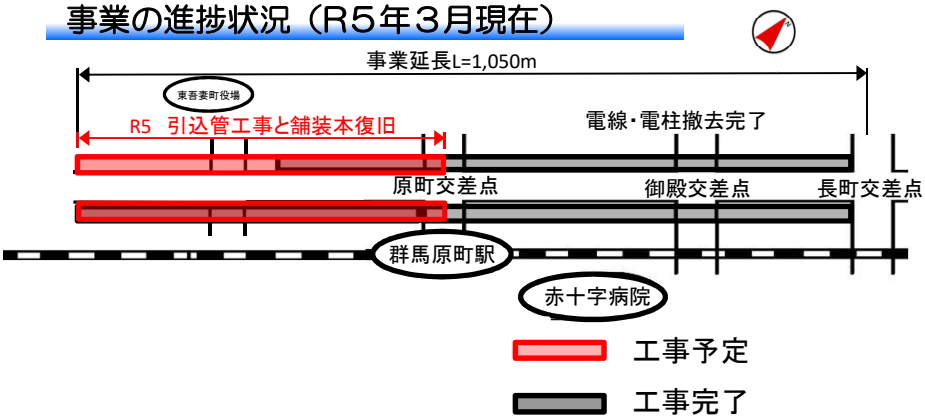
◆地震時などに電柱が倒壊して、通行の障害となったり、断線等で垂下がった電線が歩行者に接触するなどのおそれがあります。

実施後

◆電線を地中化して電柱を撤去することで、電柱の倒壊による交通の寸断がなくなるとともに、良好な都市景観が創出されます。

県内　実施事例（前橋市内）

事業の進捗状況（R5年３月現在）



今、何をしているか

令和５年度は、各家庭への引込み管設置工事と舗装本復旧工事を行い、事業が完了する予定です。

事業のすすみ具合

事業開始 ●――――――――――――――――――――――――――――●・・・● 事業完了